

# 「2024きらまつり」で塩タブレットを配付しました。（2024年度）

塩と暮らしを結ぶ運動では、2024年11月9日（土）、10日（日）の両日、愛知県西尾市の横須賀公園で開催された「2024 きらまつり」（主催：吉良・幡豆まちづくり協議会（きらまつり実行委員会））にて、塩タブレットを配布しました。

塩と暮らしを結ぶ運動協力団体の西尾市塩田体験館は、例年、このイベントにブースを出展し、同館の復元塩田でつくったかん水（濃い塩水）を卓上のコンロで煮つめて実際に塩をつくる「塩づくり体験」を行っています。このブースに、今年はこちらの塩タブレットを設置し、来場者の皆様にお持ちいただきました。

「きらまつり」は、町の活性化や地域住民とのふれあい、また町づくりに貢献することを目的に、当地の産業や文化、特産品等を広く内外に発信するおまつりです。会場には、飲食関係などの多数のブースが出展されるほか、ステージでは地元の生徒による演奏、キャラクターショー、アイドルやお笑い芸人のライブなども行われます。

2日間とも天候にも恵まれ、大勢の来場がありました。西尾市塩田体験館のブースにも、見学者を含め1,240名の来訪者があり、うち380名に実際に「塩づくり体験」を行っていただき、塩をつくることの大変さを改めて体感していただきました。

そして、気温はそれほど高くなりませんでした。塩タブレットはなかなかの人気のようで、2日とも早々になくなりました。2日間合計で、150セットの塩タブレットをお持ちいただき、熱中症対策に役立てていただきました。



# 「2023きらまつり」で塩飴を配付しました。（2023年度）

塩と暮らしを結ぶ運動では、2023年11月11日（土）、12日（日）の両日、愛知県西尾市の横須賀公園で開催された「2023 きらまつり」（主催：吉良・幡豆まちづくり協議会／西尾市）にて、塩飴を配布しました。

このイベントは、当地の産業や文化、特産品等を広く内外に発信して、町の活性化や地域住民とのふれあいや、町づくりに貢献することを目的として開催されており、毎年、多くの来場があります。会場では、飲食関係などの多数のブースが出展されるほか、ステージでは地元の児童・生徒による演奏、キャラクターショー、アイドルやお笑い芸人のライブなども行われ、2日間で合計で約53,000人の来場がありました。

西尾市塩田体験館（塩と暮らしを結ぶ運動協力団体）では、例年、このイベントにブースを出展し、塩田体験館の復元塩田でつくったかん水（濃い塩水）を卓上のコンロで煮つめ、実際に塩をつくる「塩焼体験」を実施しています。今回はこのブースに、暮らしおの塩飴を設置し、来場者の皆様にご自由にお持ちいただきました。

両日も好天に恵まれ、西尾市塩田体験館のブースでも、大勢の方に塩づくりを体験していただきました。普段あまり意識することのない「塩づくり」の大変さを感じていただけたのではないのでしょうか。そして、11月とはいえ、汗ばむような陽気だったことから、2日間合計で200セットの塩飴は、2日とも早々になくなるという人気でした。塩飴をお持ちいただいた皆様には、熱中症対策に役立てていただけたことと思います。



# 「2019きらまつり」で周知活動を行いました。（2019年度）

塩と暮らしを結ぶ運動推進協議会では、2019年11月9日（土）、10日（日）に、愛知県西尾市吉良町の吉良コミュニティ公園で開催された「2019 きらまつり」（主催：吉良・幡豆まちづくり協議会／西尾市）にて、昨年度に引き続き、周知活動を行いました。

このイベントは、吉良町の産業や文化、特産品等を広く内外に発信して、町の活性化や地域住民とのふれあいや、町づくりに貢献することを目的として毎年開催されており、飲食関係などの多数のブースが出展されたり、ステージでは地元の 児童・生徒による演奏、アイドルやお笑い芸人のライブなども実施され、2 日間で合計で約5万5千人の来場がありました。

塩と暮らしを結ぶ運動の協力団体である西尾市塩田体験館では、例年、このお祭りにブースを出展し、塩田体験館の復元塩田でつくったかん水（濃い塩水）を卓上のコンロで煮詰め、実際に塩をつくる体験コーナーを開設しています。

今回はこのブースの一角で、塩飴や冊子『塩と暮らしのあれこれ BOOK』、塩イルカのクリアファイルなどをお配りし、塩と暮らしを結ぶ運動の周知も行いました。

西尾市塩田体験館のブースにも、大勢の方に立ち寄っていただき、実際に塩づくりを体験していただきました。塩と暮らしを結ぶ運動としては、約1400名の方に、改めて塩に興味を持っていただくとともに、塩と暮らしの関わりについてお伝えすることができました。



# 「2018きらまつり」で周知活動を行いました。(2018年度)

塩と暮らしを結ぶ運動では、2018年11月10日（土）、11日（日）、愛知県西尾市吉良町のコミュニティ公園で開催された「2018きらまつり」（主催：吉良・幡豆まちづくり協議会／西尾市）で、昨年度に引き続き、周知活動を行いました。

今年度、塩と暮らしを結ぶ運動の協力団体となった西尾市塩田体験館では、例年、このお祭りにブースを出展し、塩田体験館の復元塩田でつくったかん水（濃い塩水）を卓上のコンロで煮つめ、実際に塩をつくる体験コーナーを開設しています。

今回は、このブースの一角で、塩と暮らしを結ぶ運動として「塩の結晶を見てみよう！」と題したクイズを実施しました。西尾市塩田体験館の塩、普通の食塩及び海外の湖の塩の3種類の結晶を顕微鏡で見てもらい、どれがどの塩かを当ててもらおうというものです。

塩は身近なものですが、結晶を拡大して見ることはあまりないので、参加の皆様は、同じ塩でもつくり方などで様々な形の結晶になることを、大変驚いておられました。

結晶を覗いていただいた皆様には、塩の結晶にもいろいろあることに興味を持っていただいたことをきっかけに、さらに塩と暮らしの関わりについても知っていただくべく、冊子『塩と暮らしのあれこれBOOK』と、塩イルカのクリアファイルをお配りしました。

会場には、飲食関係などの多数のブースが出展されたほか、ステージでは地元の児童・生徒による演奏、またアイドルやお笑い芸人のライブなども実施されました。両日とも幸い天候に恵まれ、2日間で合計で約5万8千人の来場がありました。

西尾市塩田体験館のブースにも、大勢の方に立ち寄っていただき、実際に塩をつくったり、塩の結晶を観察していただきました。塩と暮らしを結ぶ運動としては、約400名の方に、改めて塩に興味を持っていただくとともに、塩と暮らしの関わりについてお伝えすることができました。



# 「2017きらまつり」で周知活動を行いました。（2017年度）

塩と暮らしを結ぶ運動推進協議会では、2017年11月11日（土）、12日（日）に、愛知県西尾市吉良町の吉良コミュニティ公園で開催された「2017 きらまつり」（主催：吉良・幡豆まちづくり協議会／西尾市）にて、周知活動を行いました。

このイベントは、吉良町の産業や文化、特産品等を広く内外に発信して、町の活性化や地域住民とのふれあい、また町づくりに貢献することを目的として、毎年開催されています。

例年、このイベントには、現地の塩卸売会社である吉田塩業株式会社（全国塩元売協会会員）がブースを出展していますが、今回は、このブースにおいて、が、今回は、このブースにおいて、塩と暮らしを結ぶ運動の周知も行いました。

会場には、飲食関係などの多数のブースが出展されたほか、ステージでは地元の児童・生徒たちによる演奏、さらにはアイドルやお笑い芸人のライブなども行われ、大変なにぎわいでした。11、12両日で、延べ約5万名の来場があったということです。

このようなにぎわいの中、ブースに来られた約300名の方に、運動のリーフレットやマグネットなどを配布し、周知を行いました。

吉良は、かつての塩の生産地であり、吉良の塩は「饗庭（あいば）塩」の名で有名でした。塩に縁のある吉良の地で開催された本イベントにおいて、塩と暮らしの関係について、大勢の方に知っていただくことができました。

